

土日祭日

納涼花火大会、市民的論議で再開を！ 経済委員会・全会派一致「再開検討」を決議

益田牧子議員が所属する経済委員会では、32回を重ねた花火大会の中止が、市民的な論議や議会での論議もなく、決定されたことに批判が集中し、下記の決議が全員一致で決まりました。益田牧子議員は、「明石市の花火大会事故から学ぶべきことは、情報公開と市民参加での論議を徹底することだ」と指摘し、市民参加での再開に向けた論議を求めました。



市長「検討の場」設置を表明

幸山市長は、議会終了後の記者会見で、「今後の花火大会を含めた夏のイベント再考」の新機関設置の検討を表明しました。

(委員会での決議) ~今回の「火の国まつり納涼花火大会の見直し」については、5月末に開催された実行委員会での中止決定に至るまでの経緯について、昨年の花火大会開催前から御幸坂における混雑時の危険性を認識しながら、これまで市民と議会への報告を怠り唐突に中止決定に至ったことについて、執行部に対し、猛省を促すものである。 ~中略~

あらゆる施策の再検証を行うための検討委員会を設置するなど、必要な予算措置を行うとともに、関係機関との十分な協議を重ね、江津湖を含む本市での花火大会を再開するよう、委員会の総意として執行部に対し、強く申し入れる。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3 | ホーム：<http://www.jcp-kumamoto.com/>

NO. 759

2011年7月10日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

動植物園駐車場の「有料化」ストップを!! 教育施設に「受益者負担」はなじみません

熊本市動植物園には、現在847台の駐車場がありますが、土・日・祭日・ゴールデンウィークは駐車場不足で周辺道路は大渋滞です。解消策として、熊本市は、2011~12年の2カ年で駐車場を547台増設し、1394台分を確保する計画です。

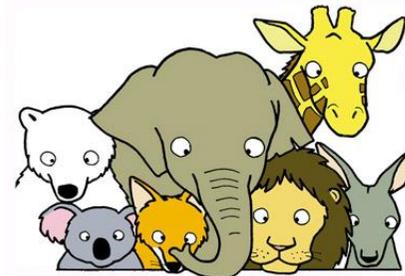
ところが、幸山市長は、「財政健全化策」として、動植物園駐車場にも、受益者負担を求めています。

平日は無料とするものの、利用者の多い土日祭日には、有料化する条例を12月議会に提案する予定です。(大型バス:1000円、中型・普通車:300円)

旭山動物園も無料！平日も土日祭日利用も公平に！

有名な旭山動物園も駐車場は無料です。熊本市内の子ども達は、入園料は無料です。しかし、大人や市外の子供達からは、入園料も取っています。駐車場有料化による更なる負担増は止めるべきです。

仕事の都合などで、土・日・祭日に家族連れで、車で入園する人も少なくありません。平日同様に、土日祭日も、駐車場利用は無料にするべきではないでしょうか。



(全国の駐車場無料の動植物園)

旭川市旭山動物園、佐世保市亜熱帯動植物園、豊橋総合動植物園、長野市茶臼山動物園、富山市ファミリーパーク、石川県いしかわ動物園、秋田市大森山動物園など

国民健康保険料

4月からの値上げに、悲鳴！

納付書が届いて、市役所には電話が殺到

今年度の納付書が6月14日に加入世帯へ発送され、翌日から8日間、特別窓口が設置されました。

窓口への来所相談は636件、電話による相談は2,900件でした。一番多かった日は、通常の4倍の600件の電話があり、特別相談窓口には200人が雨の中詰め掛けられました。

日本共産党市議団にも、「なぜ、こんなに保険料が上がったのか」「間違いではないのか」「何の説明もなかった」など、突然届いた値上げ通知に疑問や怒りの声がいっぱいでした。



日本共産党は、

委員会・本会議で保険料引下げを強く求めました

「国保値下げを求める請願」・否決

6議会には「国民健康保険料値下げと制度の改善を求める請願」が提出され、日本共産党熊本市議団以外のすべての会派の反対で否決されました。

景気の低迷にさらに拍車をかける

国保料値上げは、加入者世帯の可処分所得を減らし、消費をさらに冷え込ませます。地域経済へも大きなマイナスです。

保険料の負担が重過ぎる

- ・ 加入者の半数以上が「無職」
- ・ 所得200万円以下世帯が8割超
- ・ 加入世帯の所得は年々減り、保険料は上がる、逆行した状況
- ・ 保険料の事業主負担がなく、他の医療保険より重い負担

無駄を削り、一般会計繰入れ増額を

数10億円もかかる桜町再開発の大型コンベンション施設建設や合併特例区の高額報酬（5年間で約6億円）など、無駄を削り、一般会計繰入れを増やして、高すぎる国民健康保険料は引き下げるべきです。

西部環境工場にかわる新しいごみ焼却施設は民間による運営ではなく市による運営を！

今回の議会には、西部環境工場にかわる新しいごみ焼却施設の建設費と民間企業による20年間の運営委託費など248億円が提案されました。日本共産党は、益田牧子議員が締めくくり総括質疑で、なすまどか議員が予算の反対討論で、以下の点を指摘し、公設公営で行うよう求めました。

① 低エネルギー社会への対応

東日本大震災や原発事故をうけ、いかにエネルギーを使わず、環境へ配慮していくのかということが注目されている。燃やすごみゼロを目標に取り組

む自治体がふえている。こうした変化に対応できるのは市による運営である。

② ゴミの減量は利潤追求を目的としていない公でこそ可能

民間企業は、ごみを燃やすことで利潤を得る。環境やごみの減量を利潤追求とは切り離して運営できる公(市)による運営こそが大切。



市営駐輪場有料化は中止し自転車利用の推進を！

熊本市は、放置自転車の解消を目的として9月議会にむけ駐輪場の有料化条例を提案することを明らかにしました。

また、自転車利用者とその他交通手段利用者との公平性をはかるとして、受益者負担が導入されます。

予定している利用料金などは以下のとおり

- 自転車 (100円/12時間)
 - バイク 125cc以下 (100円/6時間)
 - バイク 125cc超 (100円/2時間)
- 自転車・バイク 125cc以下は2時間無料

駐輪場の有料化は商店街のにぎわいに逆行！

有料化により、自転車で気軽に街に出かけにくくなるとの声も寄せられています。ぜひ皆さんのご意見をお寄せください。

